

十日市場団地地区

十日市場団地地区別計画推進委員会

地域

十日市場町（十日市場団地地区）

昭和34年から39年にかけて建てられた市営十日市場住宅を中心とした地区です。建物の老朽化に伴い、十日市場ヒルタウンとして平成3年から全面的な建替えを実施し、高層化により人口も増加しました。ヒルタウンの名称のとおり、丘陵状の地形に計画的に整備されています。

また、「持続可能な住宅地モデルプロジェクト」の取組の一つとして、民間活力の導入や市有地の有効活用等について検討されています。

<主な関連施設>

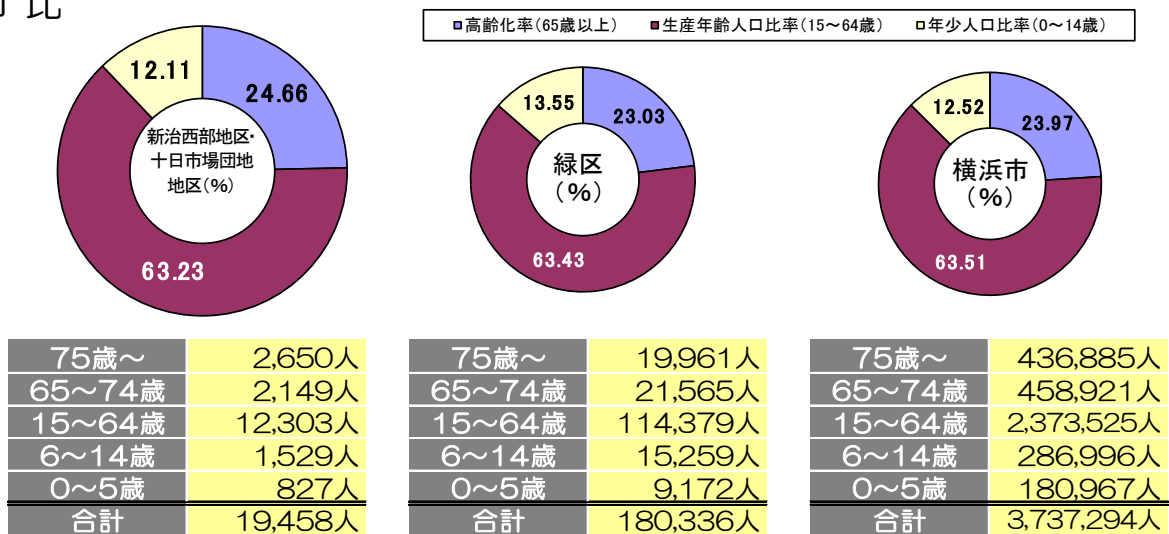
最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

震災時避難場所（地域防災拠点）：十日市場中学校

地域ケアプラザ等：横浜市十日市場地域ケアプラザ

<年齢区分別人口> 人口比

平成29年(2017年)9月末



地区別計画推進策定委員会の開催

注) 上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台7丁目のデータを集計しています。

第1回

平成29年8月2日

18:30~20:30

十日市場ヒルタウン第7街区集会所

【みんなで地域を考える会と合同】

- 意見交換
- 見守りシートについて
- お茶飲み会について
- 地区ボランティアセンターについて

通信No.13 発行

第2回

平成29年12月7日

18:30~20:30

十日市場ヒルタウン第7街区集会所

- 意見交換
- 福祉カフェ「るるる*オアシス」
- 介護予防教室「びちびち健康教室」
- 子どもたちの現状について
- 「一人ぼっちにさせないために」
- マグネットシート(案)作成・配布

通信No.14 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成29年度地区別計画推進状況



十日市場団地地区

十日市場団地地区

地域が団結して いつまでも支えあえる
十日市場団地を目指します！

十日市場団地地区では、『いつまでも支えあえる十日市場団地』
を目指してまちづくりに取り組んでいます。

『十日市場団地 お茶飲み会』
が5周年を迎えました！



(画像：お茶飲み会5周年を
記念したロゴ)

平成29年12月に5周
年を迎えた「十日市場団地
お茶飲み会」は、『一人ぼっ
ちにさせない』を合言葉に、
毎月開催しています。

8月・12月には、近隣保育園の園児も歌や
踊りを披露し、多世代交流の場にもなっている
憩いの会です。



(写真：「お茶飲み会5周年を記念した
小野崎区長とのふれあいトーク」の様子)

『ボランティアセンター』 活動中！
「手助け」してほしい人と
できる人を結びつけます！

昨年度からスタートした『ボランティアセンター』
では、秋からメニューを新たに増やし、活動中です。
さらに、地域の皆さまが困ったときに相談先がわか
るように、相談先を記載した「一人ぼっちに

させないために」マグネットシートを
全戸に配布し、周知をします。



(画像：「ボランティアセンター」案内)



(画像：「一人ぼっちにさせないために」
マグネットシート)

これからも団結して地域の「つながり」を作っていきます！

十日市場団地地区別計画推進委員会



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成29年9月発行 第3期 No.3 (通算 No.13)

十日市場団地 地区別計画推進委員会通信

平成29年8月2日(水)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において「平成29年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。なお今回は、「みんなで地域を考える会」との合同開催となりました。

当日は、橋川委員長のあいさつで始まり、平成28年度から始まった第3期みどりのわ・ささえ愛プランの概要について改めて確認しました。そして、十日市場団地地区地区別計画の推進に向けて『一人ぼっちにさせないために』をテーマに、「お茶飲み会」と「ボランティアセンター」を題材に、4つのグループに分かれて話し合いを行いました。



みどりのわ・ささえ愛プランとは・・・



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。



第3期 十日市場団地地区 地区別計画

- 目標1：地域が団結して、「つながり」を作り あらゆる世代の交流を広げよう
- 目標2：連携して、「見守り」を進め いつまでも支えあえる地域を目指そう
- 目標3：健康や交流を意識した取組を進め 地域をもっと元気にしよう

【平成29年度 十日市場団地地区別計画推進委員】

○推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校 などから構成されています。

★橋川茂子、宮本増穂、百武節代、相田泰喜、古田三郎、川村武子、羽鳥節子、石川多美、大村律子、長崎清美、山内ユミ子、尾崎敏明、堀川智子、鈴木雄二、塙喬子、田中正人、笠原紀代子、平良美枝子、古屋紀美代、川隅やす子、金谷エイ子、池袋タツ、白田邦彦、平井仁女、山口等、栗原保恵、本田富男、八木範夫、大木巧、三好真理子、白石武、能登富士子
(敬称略、順不同、★：委員長)

※ 今回は「みんなで地域を考える会」と合同開催のため、単位自治会長・ボランティアセンター関係者の皆さまにもご出席いただきました！

☆☆ 裏面では、委員会での意見交換の内容についてご紹介いたします！ ☆☆

★探しています！★

十日市場団地連合自治会の機関紙「住連通信」が、平成29年9月号で500号を迎えました！
地域の歴史を知るために貴重な資料ですが、バックナンバーの多くが欠けてしまっています。平成3年3月(No.185)以前の「通信」を保存されている方がいたら、裏面の〈連絡先〉までご連絡ください！



3つの取組報告・紹介がありました！

1 「見守りシートの取組み」について

十日市場地域包括支援センター 糸井主任ケアマネジャー

地域で孤立してしまう方のサインに気づくための検討を行い、皆さんからの意見を反映して「一人ぼっちにさせないために」というチェックシートを作成しました。皆さんの気づきが、助け合いの「いっぽ」につながります。ぜひ、チェックシートを見守り活動にお役立てください。

2 「お茶飲み会」5周年に向けて

橋川委員長

お茶飲み会も今年の12月で5周年を迎えます。スタッフも共に楽しんでいることが「つながり・見守り・元気」を後押ししていると感じています。



3 「地区ボランティアセンター」について

橋川委員長

▲「お茶飲み会」の様子

平成28年12月に発足したボランティアセンターも発足から半年以上が経ちました。現在は、ごみ捨て・電球交換・部屋の片づけなどを行っており、相談件数は開設以来26件となっています。9月からは、話し相手・買い物支援のサービスも追加します。

意見交換で出た意見の一部をご紹介します！

～『お茶飲み会』と『ボランティアセンター』をテーマに、
多くの意見が出されました～

【お茶飲み会】

- ・初めての人にとっては敷居が高く感じる。もっと気軽に来られる仕組みが必要。
- ・支援する人と受ける人を明確に分けず、もっと相互的な関係であるべきだと思う。
- ・会場が二か所しかなく、自宅から遠いために行きにくいと感じている人もいる。
- ・「年配の方向けの集まり」のイメージが強い。若いお母さんが子育て経験者に相談ができたり、高齢世代と子育て世代との交流の場にもなると良い。

【ボランティアセンター】

- ・「誰が来るのか分からない」「プライバシーを見られたくない」という心理的な壁がある。
- ・利用できる対象が誰なのかを、もっと周知した方が良いと思う。
- ・見やすいチラシなどを作成し、周知・広報を進めていくべき。
- ・発足したばかりの機関でまだ知名度も低いので、自治会長から広めてもらった方が、信頼度が高まるのではないかな。



▲委員会の様子

みんなで力を合わせて
いつでも支えあえる十日市場団地
を目指しましょう！

次回の委員会は
平成29年12月頃開催予定です！



<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
事務局 緑区こども家庭支援課内
TEL：930-2332



十日市場団地地区別計画推進委員会
平成30年1月発行 第3期 No.4 (通算 No.14)

十日市場団地 地区別計画推進委員会通信

平成29年12月7日(木)十日市場ヒルタウン第7街区集会所において「平成29年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン十日市場団地地区別計画推進委員会」を開催しました。

当日は、橋川委員長のあいさつで始まり、8月に開催された第1回委員会の振り返りをしたあと、十日市場団地地区での取組報告が行われました。

そして、十日市場団地地区地区別計画の推進に向けて『一人ぼっちにさせないために』をテーマに、「より身近な居場所づくり」を題材として、4つのグループに分かれて意見交換を行いました。

どのグループからも熱のこもった意見が聞かれました！



みどりのわ・ささえ愛プランとは・・・



誰もが身近な地域で安心して暮らしていけるよう、福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。



第3期 十日市場団地地区 地区別計画

目標1：地域が団結して、「つながり」を作り あらゆる世代の交流を広げよう

目標2：連携して、「見守り」を進め いつまでも支えあえる地域を目指そう

目標3：健康や交流を意識した取組を進め 地域をもっと元気にしよう

【平成29年度 十日市場団地地区別計画推進委員】

○推進委員会メンバーは、民生委員児童委員協議会、連合自治会、保護司会、地区社会福祉協議会、地区老人クラブ連合会、更生保護女性会、環境事業推進委員会、消費生活推進員、十日市場中学校、十日市場小学校などから構成されています。

★橋川茂子、宮本増穂、百武節代、相田泰喜、古田三郎、川村武子、羽鳥節子、石川多美、大村律子、長崎清美、山内ユミ子、尾崎敏明、堀川智子、鈴木雄二、田中正人、笠原紀代子、平良美枝子、古屋紀美代、川隅やす子、金谷エイ子、池袋タツ、白田邦彦、平井仁女、山口等、本田富男、八木範夫、大木巧、三好真理子、白石武、能登富士子 (敬称略、順不同、★：委員長)

○各自治会会長、地区ボランティアセンターの皆さまにもご出席いただきました。

★探しています！★

まだまだ！

十日市場団地連合自治会の機関紙「住連通信」が、平成29年9月号で500号を迎えました！

地域の歴史を知るために貴重な資料ですが、バックナンバーの多くが欠けてしまっています。平成3年3月(No.185)以前の「通信」を保存されている方がいたら、裏面の〈連絡先〉までご連絡ください！

☆☆ 裏面では、委員会での意見交換の内容についてご紹介いたします！ ☆☆



3つの取組報告・紹介がありました！

1 「ぴちぴち健康教室」について



十日市場地域包括支援センター 渦原さん

介護予防教室として「ぴちぴち健康教室」を開催するにあたり、十日市場団地全体は広いので、今回は2街区集会所で第一自治会の方限定で実施しました。身体、お口、栄養、楽しく歌おう、などの5日間のコースに、13名ほどの参加がありました。もっと続けたいとの声が多くあったため、自治会の協力を得ながら今後も続けていきたいです。

2

福祉カフェ「るるる＊オアシス」の開所について



十日市場地域ケアプラザ 三治さん

「るるる＊オアシス」は、介護について悩みを抱える方が気軽に胸の内を打ち明けられる場を作りたくて、横浜創英大学の上村教授の協力のもと十日市場地域ケアプラザと福祉クラブ生協が立ち上げた福祉カフェです。毎月第4日曜の13時半から開催しています。お気軽にご参加ください。

3

「子どもたちの現状」について



十日市場小学校 大木校長

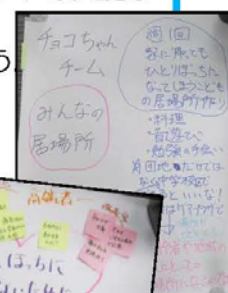
子どもたちの登下校の見守りについて、地域の方のご協力をいただき感謝しています。挨拶などを通して、子どもたちも地域の方から褒められたり叱られたりすることは大きな経験であり、地域の方の力もお借りして、子どもたちを育てていきたいと考えています。

意見交換で出た意見の一部をご紹介します！



～『より身近な居場所づくり』を題材に、多くの意見が出されました～

- ・防犯グループ内の横の繋がりは既にあるため、防犯グループを切り口に顔を繋いでいくことができると思う。
- ・「ぴちぴち健康教室」も何らかの形で子どもが参加できる仕組みを模索できないか。
- ・お茶飲み会では、お茶を飲むだけでなく、カラオケやゲームなど、何かイベントを実施すると飽きないのではないか。
- ・お茶飲み会のポスターを作成するなどして掲示すれば、参加者が増えると思う。
- ・ケアプラザに週に一回子どもたちが集まって、料理や昔遊び、勉強の手伝いなどができれば良い。近くに住む高齢者などがそれらを教えてあげる役回りをすれば、お互いを見守りにもなり、こどもに常識や生活の知恵を学ばせることができるのではないか。
- ・一人ぼっちにしないのは難しいけど、何もしないのではなく、声を掛け合い、顔の見える関係を作っていくべき。



みんなで力を合わせて

いつでも支えあえる十日市場団地

を目指しましょう！

次回の委員会は
平成30年夏頃に開催予定です！



<連絡先>

十日市場団地地区別計画推進委員会
事務局 緑区こども家庭支援課内
TEL：930-2332